



「続ける人、 1人。」

あたたかく
たくましく
おおらかに

クラスマッチが終わり、各学年、クラス、団の絆ができてきました。

1年生の元気な応援や2年生のファイト溢れるプレー、3年生のクラスや学年を超えて、自分たちの団を応援しようとして一生懸命盛り上げてくれた姿に、附属高校のとても良い姿が見られたと思います。

さてこれからは、いよいよ1学期も中盤です。各学年ともに、それぞれの目標の達成に向かってエンジンをかけられていますか？まだ中学生気分の1年生はいませんか。まだ先輩についていけばいいと思って部活をやっている2年生はいませんか。まだ受験生になりきれてない3年生はいませんか。

新しい学年になって、環境も変わり、4月は「よし！高校の部活では絶対レギュラーになって活躍するぞ！」と思った1年生、「今年は絶対勉強に手を抜かず、小テストも満点取り続けるぞ」と誓った2年生、「志望校に合格するために、スマホや携帯を封印して、隙間時間もすべて勉強するぞ」と意気込んだ3年生、その他にも4月にはいろんな目標や「やってやろう！」、「やらなくちゃ」、「やりきるぞ」と思ったことがみなさんの中にあっただと思います。さて、5月も終わりに近づきましたが、4月のその気持ちをどのくらい持ち続け、かつ実行し続けていますか？

これはみなさんのような高校生だけでなく、実は大人でも同じで、年度が変わる4月にNHKのテキストが一番良く売れるそうです。大学生の時、私はスポーツクラブでアルバイトをしたことが一時期ありましたが、その時もやはり4月5月には入会者がとても多かったです。

「したい人10,000人、始める人100人、続ける人1人。」と言われます。何かしたい、何かをやってやろうと思っている人の中で、実際に始めるのはそのうちの100人で、さらにその始めたことを続け切ることができる人は1人、つまり何かをやろうと思っている人の9,999人はやらないか、やっても続かない、続けられないという数字です。

この数字は少し大げさかもしれませんが、でも、そうであるなら、まずやってみる、やり始めるだけでもすでに他の多くの、思っているだけ、決意しただけの人よりも抜き出たこととなります。特に1、2年生は、例えば英語ができるようになりたい、古文漢文ができるようになりたいなどと思っていることでしょう。でも、自分に合った勉強方法でやった方がいいよね、とか、何か参考書でも買ってやった方がいいのかな、いい勉強方法はないのかなとかいろいろ考えているだけだったりしませんか。まずは何でもいいのです。単語だけでもいい、文法だけでもいい、繰り返し暗記するだけでもいい、何でもいいからやり始めることです。動き出すことです。そうれば、それが習慣となったり、もっといい勉強法が見つかったり、効率のよい学習の仕方が分かったりします。何よりも、勉強でも部活動でもやったことは無駄にはなりません。何もしていない間に、他の100人はスタートしていますよ。さあ、今すぐ始めよう！そして、われこそは、10,000人の1人になってやろう！

6月11日(月)の身だしなみ指導から完全夏服になります。夏服の準備ができていない人は、忘れずに準備をしておいてください。また、地域の方から自転車の並列走行の注意がありました。自転車通学者は交通ルールを遵守して、登下校をしましょう。交通ルールは自分の命と他人の命を守るためのルールです。